

I 安心・安全に暮らせるまちづくり

大規模地震や集中豪雨によるがけ崩れや内水はん濫などの自然災害の発生に備え、減災のために、区民一人ひとりの防災意識や知識を高め、行政の支援（公助）だけではなく、各自の備え（自助）、住民同士の助け合い（共助）の力を高めていただくよう取り組んでまいります。

また、交通事故や住宅対象侵入盗、振り込め詐欺などの特殊詐欺が多発していることから、交通安全対策や防犯活動を推進するとともに、子どもや高齢者を区民全体で見守る取り組みを進めてまいります。

地域防災活動の支援



地域防災力を高めるため、助け合いの仕組みづくりを地域と一体となって推進するほか、地区防災カルテ[※]や避難所の円滑な開設・運営に必要な道具を集めたセットなどを活用して、次の事業に取り組めます。

※ 地区防災カルテとは？

地域の地形、歴史、災害リスク、防災活動状況など防災に関連する情報をまとめたものです。

① 指定避難所開設・運営訓練

発災時に避難所を円滑に開設・運営できるよう地域や関係機関と協働して、「指定避難所運営マニュアル」の内容に基づいて実践的な訓練を実施します。



指定避難所開設
・運営訓練

② 地域防災リーダーの育成

災害対策委員や自主防災会会長などを対象に講習を実施し、防災・減災について中心的な役割を担うリーダーを継続的に育成します。

(総務課 753-1811)

(消防署 764-0119)

総合水防訓練・総合防災訓練の実施

大規模災害による被害を最小限に抑えるため、地域、防災関係機関や事業者などと協力・連携して、千種区の地域特性を考慮した総合的かつ実践的な訓練を実施します。

また、関係機関が実施する災害時医療救護所訓練や災害ボランティアセンター設置・運営訓練にも協力し、災害対応力の強化に取り組めます。

- 「千種区総合水防訓練」
5月26日(日) 小原橋緑地
- 「千種区総合防災訓練」
9月1日(日) 千代田橋小学校

(総務課 753-1811)

(消防署 764-0119)

ちくさ子ども防災キャンプ



区内の小学校4～6年生を対象に、地域での防災・減災に関する将来の担い手のすそ野を広げることを目的とした「ちくさ子ども防災キャンプ」を自由ヶ丘小学校で開催します。防災・減災に関する講習・訓練や避難所生活体験など宿泊型の実践的な防災教育に取り組めます。

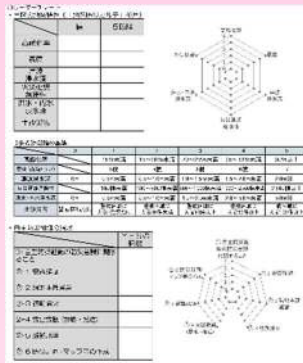
(総務課 753-1811)

自然災害への備え

大規模地震や集中豪雨などの自然災害に備え、次の事業に取り組みます。

① 防災診断書を活用した防災提案・支援

大規模災害発生時には、地域住民の活動を中心とした初期消火、安否確認等の初期対応が必要となります。これらの活動の中心となる自主防災会における防災の取り組みについて、消防職員が防災診断書を用いてどのような活動がされているのか実態を把握し、診断結果に基づいた防災提案・支援を行います。



防災診断書
(レーダーチャート)

(消防署 764-0119)

② 消防団員確保の支援

火災をはじめ近年多発している豪雨災害、将来発生が心配されている南海トラフ巨大地震に備えるため、消防団員の充足率向上をはかる必要があります。そのため、区内の様々な行事などで消防団活動の紹介を行うなど積極的に「消防団員募集」の広報を行い、消防団員の確保の支援に努めます。



訓練の様子

(消防署 764-0119)

家具転倒防止の推進

南海トラフ巨大地震などの大規模地震で負傷や逃げ遅れの原因となる家具や家電の転倒・落下を防止するために、家具固定の普及・啓発を進めます。

自力で家具固定を行うことが困難な世帯には、名古屋市の養成講座を修了した「千種区家具転倒防止ボランティア」が訪問して、家具の転倒防止作業を実施します。



家具の転倒防止作業

(消防署 764-0119)

(総務課 753-1811)

救命講習

応急手当についての知識、技術を広く普及するため、消防署において救命講習を開催します。

また、地域などからの依頼により、消防団員及び消防職員が救命講習を実施します。



救命講習

(消防署 764-0119)

交通安全啓発活動の推進

交通事故を少しでも減らすため、地域住民や警察・学校などの関係機関と協力して、交通安全講話や啓発キャンペーンを行います。

高齢者向け「いきいき運転講座」や、楽しみながら交通安全について学ぶことのできる「交通安全フェア」など区民参加型の事業を実施し、交通安全を呼び掛けます。

また、区内高校と自転車安全利用に関する連携協定を締結し、計画的・継続的に交通安全講話等を実施します。



交通安全フェア

(地域力推進室 753-1821)

(警察署 753-0110)

防犯活動の推進

多発している特殊詐欺や住宅対象侵入盗等の被害を防ぐため、地域や警察と協働して防犯キャンペーンや防犯パトロール等を実施します。

また、高齢者向け「特殊詐欺被害防止講話」や護身術を学ぶ「女性を犯罪から守る講習会」を実施し、防犯意識の高揚に努めます。



防犯パトロール

(地域力推進室 753-1821)

(警察署 753-0110)

地域コミュニティの活性化

安心・安全で快適なまちづくりを進めるため、町内会・自治会が行っている自主的な地域活動をリーフレットや小冊子、広報なごや等で紹介し、町内会・自治会への加入促進をはかります。

また、地域活動に関する意見交換を行う交流会を開催するなど地域コミュニティの活性化に努めます。



コミュニティ交流会

(地域力推進室 753-1821)

くらしをよりよく♪ 町内会・自治会 ～加入のおすすめ～

◎町内会・自治会とは？

町内会や自治会は町内などの地域の住民が自主的につくりあげる住民自治組織です。地域に住む人々が、ふれあいの輪を広げ親睦を深め、個人や家族だけでは解決できない課題について、みんなで協力して対策を考えます。

◎加入するにはどうすれば？

お住まいの町内会長・自治会長さんにご相談ください。町内会長・自治会長さんがご不明なときは、区役所地域力推進室（☎753-1821）にご相談ください。



詳しくは左のリーフレット（区役所で配布）をご覧ください。

こあらっち見守り大作戦

千種区のマスコットキャラクターの「こあらっち」を使用したステッカーやのぼり等を活用して、地域住民、民間事業者、行政が一体となった防犯・見守り・交通安全等の啓発活動である「こあらっち見守り大作戦」を推進し、子どもや高齢者を区民全体で見守ります。



こあらっち防犯キャンペーン

(地域力推進室 753-1821)



このステッカーは地域の方や区内民間事業者、行政が一体となって「こあらっち見守り大作戦」を展開していることをPRするために貼っていただいています。

たとえば、千種郵便局、新聞販売店、介護事業者などの車両のほか、こども110番の家や商店街の店舗などに貼られています。

防犯・見守り・交通安全など皆さまのご協力により安全で安心して暮らせるまちをめざしています。

千種区子ども安心週間

青少年が安心して暮らせるまちをめざし、名古屋市が夏と冬に実施している「青少年をまもる運動」強調期間に合わせて、「千種区子ども安心週間」を設け、青少年育成区民大会や街頭キャンペーン、広報車による啓発活動を実施します。

また、小・中学生を対象に、啓発ポスターや「こども安心ドリル」を活用し、自分の身を守ることや命の大切さを理解できるような啓発活動を実施します。



青少年育成区民大会 青少年ふれあいコンサート

(地域力推進室 753-1825)



こども安心ドリル

千種警察署と連携し、従来の「こども防犯ドリル」に交通安全クイズを加えて内容を充実した「こども安心ドリル」を小学校1・2年生に配布します。



このチラシは昨年度配布した「こども防犯ドリル」です。